

南檜山圏域地域推進方針領域別推進状況

領 域	施策の方向性	主な施策	取 組 状 況 （保健所、町、その他）	評 価 （達成状況、推進上の課題、地域の課題など）	次年度の取組予定（保健所、町、その他）
			RO4、RO5 実績 （見込み含む）		
が ん	がん予防の推進	<p>○食習慣の普及定着、タウンミーティングの開催等</p> <p>○禁煙支援の医療機関の周知、受動喫煙防止対策、未成年者の喫煙防止対策等</p>	<p>・がん教育出前講座 小学5・6年生対象（RO4、RO5依頼なし）</p> <p>・健康教育_がん予防（RO4、RO5依頼なし）</p> <p><各町の主な取組></p> <p>・子宮頸がんワクチン接種の体制整備及び接種 [江・上・厚・乙・奥]</p> <p>・小学校におけるがん教育（R5.10.26） [厚]</p> <p>・食生活改善事業への参画</p> <p>・檜山地方食生活改善協議会代表者会議（RO4：1回）</p> <p>・檜山地方食生活改善協議会交流会（RO5：1回）</p> <p>・食生活改善推進員養成講座に伴う講師派遣（RO4：江差町1回）</p> <p>・パネル展にて食習慣に関する普及啓発を実施（RO4：1回、RO5：1回）</p> <p>・特定給食施設等指導の実施（個別、集団）</p> <p>・道南ブロック行政栄養士研修会（RO4：1回、RO5：1回）</p> <p>・管内行政栄養士研修会（RO4：1回）</p> <p>・管内行政栄養士業務連絡会（RO4：2回、RO5：2回）</p> <p>・南檜山管理栄養士・栄養士研修会（RO5：2回）</p> <p>・小中学生減塩対策事業（RO5：2回）</p> <p>・食品表示法に係る相談対応</p> <p><各町の主な取組></p> <p>・食生活改善協議会及び健康推進協議会への支援 [江・上・厚・乙]</p> <p>・自治会等や通いの場に対する栄養改善事業 [厚・乙]</p> <p>・栄養士による中高生への食育講話 [江]（R5.12.5、R5.12.6、R5.12.14、R5.12.19）</p> <p>・食育教室 [厚]</p> <p>・特定保健指導、訪問指導 [各町]</p> <p>・広報へのレシピや健康情報の掲載 [厚]</p> <p>・働き盛り世代への生活習慣病予防教室 [江]</p> <p>・ホームページによる禁煙支援を実施している医療機関の周知</p> <p>・未成年者の喫煙防止対策（RO4・RO5、依頼なし）</p> <p>・北海道受動喫煙防止条例の説明会（RO4：1回、RO5：1回）</p> <p>・パネル展にて受動喫煙防止対策の実施</p> <p><各町の主な取組></p> <p>・母子手帳交付時等における普及啓発、禁煙指導 [各町]</p> <p>・健診結果説明会、特定保健指導時における禁煙指導 [各町]</p> <p>・乳幼児健診・相談時の知識の普及 [各町]</p> <p>・健康教育（喫煙等）</p> <p>飲酒喫煙薬物乱用防止教室（RO4：2回、RO5：2回） [上]</p> <p>（RO4：1回、RO5：1回） [乙]</p> <p>・第2種施設に対する受動喫煙対策の把握 [江]</p> <p>・ホームページによる普及啓発 [江]</p> <p>・広報、ポスター等による知識の普及 [上・厚・乙]</p>	<p>・がんに関する正しい知識を普及するため、事業の周知を図り希望があった場合、事業の実施を検討する。</p> <p>・コロナ禍の中止を経て、希望する学校がない状況が続いているため、実施（周知）方法の見直しが必要。</p> <p>・各町食生活改善協議会の取り組みを共有することで、相互のモチベーションアップにつながっている。会員数の減少が課題。</p> <p>・個別の給食施設指導では、当圏域の課題の1つである食塩量に着目した指導・助言を行い環境整備を図っている。また集団指導においては、従事者への知識のアップデートを図れたが、今後更に共通課題を分析した上で、実情に沿ったテーマ選びが重要。</p> <p>・無関心層への働きかけとして、自然と健康になれるような食環境整備の検討が必要。</p> <p>・業務連絡会や各種研修会を通して、知識の向上や、管内栄養課題の共有及び栄養改善事業推進のための取組を検討することができた。</p> <p>・健康づくり事業重点目標として、小中学生～親世代へのアプローチを掲げている。推進事業の1つとして、減塩対策事業を実施。小中学生に対して知識の普及や行動変容を促すことができ、また子どもを通じて家庭への働きかけも試みることができた。事業を通して、各町・教育部門の連携強化の一助になったと考えられる。</p> <p>・中高生への食育講話について継続した事業を実施出来ている [江]</p> <p>・バランスを意識した栄養改善の知識を普及できているが、働く世代への普及啓発の機会が少ない [上・厚]</p> <p>・地区組織では、学習会後地域への自主活動につながっている [上・厚]</p> <p>・食改善講座の受講希望者が少ない [上・厚]</p> <p>・学校や地域と協力して事業を実施することが出来た [厚]</p> <p>・北海道受動喫煙防止条例の普及により、各種施設内が禁煙化、分煙化されたため、望まない喫煙が以前よりも改善されていると見込まれる。</p> <p>・禁煙対策として健康教育、禁煙指導、普及啓発が行われている。 [各町]</p> <p>・喫煙対策については、情報提供が中心となっており具体的な取り組みはできていない状況 [江]</p> <p>・小学校への講話については毎年度継続実施をしているため、知識として子どもたちに普及できている。 [上]</p> <p>・妊婦の喫煙者はいないが、その家族（夫）の喫煙率が高い状況。分煙までではできても、禁煙に至るのは難しい。 [乙]</p> <p>・今の喫煙者は、健康へのリスクや知識はあるが、禁煙の意思がない人が多いため、禁煙へ繋げることが困難。</p>	<p>・がん教育出前講座について、依頼に応じて実施する。</p> <p>・がん検診受診率向上策の検討。</p> <p>・檜山地方食生活改善協議会代表者会議の開催</p> <p>・特定給食施設等指導の実施（個別、集団）</p> <p>・行政栄養士研修会等の開催</p> <p>・小中学生減塩対策事業の実施</p> <p>・食品表示法に係る相談対応</p> <p>[重点] 食生活改善協議会への支援 [上]</p> <p>[重点] 小・中・高食育教室 [上]</p> <p>[重点] 地区組織の育成・支援 [上]</p> <p>・未成年者の喫煙防止対策について、依頼に応じて実施を検討する。</p> <p>・改正健康増進法に係る受動喫煙対策の普及啓発及び指導・助言。</p> <p>・北海道受動喫煙防止条例の周知徹底。</p> <p>・受動喫煙防止対策DVDの活用</p> <p>[重点] 母子手帳交付時の指導の強化 [上]</p>

<p>がんの早期発見</p>	<p>○受診勧奨、関係団体との連携による受診率の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診各受診率に係る情報の収集等 ・パネル展にてがん検診の受診勧奨を実施 ・南檜山管内及び函館市におけるがん検診の精密検査受診可能医療機関一覧の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域・職域連携推進連絡会（R4:3回、R5:3回） 「南檜山地域で働く人とご家族のための健診ガイド」の活用状況や改善点の評価、構成団体との連携強化による健康教育の実績増に向けた取り組み ・南檜山医療・介護連携推進会議（毎月） ・セミナー、研修会等の周知 <p><各町の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種がん検診、ピロリ菌検査、ABC検診の周知 [各町] ・受診勧奨リーフレット、無料クーポン券の配付（子宮、乳） [上] ・40歳への無料クーポンセット配付（がん・ABC検診） [上] ・がん検診推進事業「健康ポイント事業」 [上] ・40歳を対象とした肝炎ウイルス検査 [上] ・民間企業の協力の元、がん検診周知チラシを配布 [江] ・おくしり健康マイレージ事業 [奥] ・無料検診（子宮がん26、31歳、乳がん46、51歳） [乙] ・個別通知（はがき）によるがん検診の受診勧奨（42歳、47歳、52歳、57歳、62歳、67歳になる者） [乙] ・特定健診との合同実施 [厚] ・胸部肺CT検査の実施 [厚] ・大腸がん検診の個別検診 [上] ・広報・健康相談によるがん検診の推進 [上・厚・乙] ・保健推進員によるがん検診普及活動 [厚] ・健康情報パンフレット及び健康手帳の配布(40歳) [乙] ・Web（QRコード）を活用した予約の整備 [江・上] 	<ul style="list-style-type: none"> ・検診実施方法、実施期間、住民周知方法、受託機関の受入れ体制の調整等が課題である。 ・がん検診受診率（R3地域保健・健康増進事業報告） 全道 4.0（肺）～13.7（乳）% 南檜山 5.1（肺）～15.6（乳）% ・管内では、がん検診の受診率は横ばいか、やや減少の傾向にあるが、受診者の固定化や高齢化が進んでいる。 ・労働者の健康づくりに意識が向けられるよう、地域・職域連携推進連絡会の構成団体による主体的な取り組みを促進し、地域と職域の接点を増やしていく。 ・特に個人事業主等の健（検）診未受診者をすくい上げることが重要。 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で低下した受診率は回復傾向にあるが、コロナ禍以前の受診率には戻っていない。 [江] ・精検受診率は上昇。 [江] ・がん検診受診者数は全体的に横ばいの傾向。特に40～50代の受診が少ない。 [上] ・町内の医療機関で特定健診のほかがん検診も併せて受診できるようになった。令和5年度より肺CT検査も導入され、徐々に認識され受診率が上がった。 [厚] ・子宮頸がん予防接種は、普及が広まらず受診者数が伸びない。 [厚] ・受診者の固定化、高齢化がみられる。 [乙] ・若年層と新規受診の受診勧奨が課題。 [奥] 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診各受診率に係る情報の収集等 ・南檜山地域・職域連携推進連絡会の開催及び連携事業の実施 <p><各町における取組></p> <ul style="list-style-type: none"> [重点] 未受診者の受診勧奨 [江] [重点] がん検診受診促進の普及啓発及び実施体制の整備 [上・厚] [新規] 中学生ピロリ菌検査 [乙] [重点] 早期発見のための各種検査及び助成事業 [奥] [重点] 健康マイレージ事業 [奥]
<p>がん医療</p>	<p>○在宅医療、相談支援機能の充実等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっこりの会（がんサロン）（道立江差病院 R04・R05、未実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンは定期的で開催されることによって、がん患者の苦痛軽減について成果が期待できるが、コロナ禍での低迷や病院の体制に伴う対象者の減少があったため、実施方法の見直しが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっこりの会（がんサロン）について、R6年度道立江差病院での開催の再開について検討中
<p>医療連携体制</p>	<p>○道南医療圏の拠点病院等との連携等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・函館・道南がん対策応援フォーラム（函館市）R04（未開催）、R05（1回開催） 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等と協力し、道南圏域でのがん対策を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・函館・道南がん対策応援フォーラムへの出席（函館市）

南檜山圏域地域推進方針領域別推進状況

領域	施策の方向性	主な施策	取組状況（保健所、町、その他）	評価（達成状況、推進上の課題、地域の課題など）	次年度の取組予定（保健所、町、その他）
			RO4、RO5 実績（見込み含む）		
脳卒中	予防対策の充実	○メタボリックシンドロームに係る知識の普及啓発等 ○特定健康診査受診率の向上、個別健診の拡大等	<ul style="list-style-type: none"> ホームページによる生活習慣病予防の普及啓発 <p><各町の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健診、特定保健指導 [各町] 特定健診未受診者対策 [各町] <ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率向上対策事業と合わせて国保対象者へ個別通知 [江] 特定健診受診者及び結果説明会来所者へEZOCAポイントの付与（インセンティブ実施） [江] 訪問指導 [上・乙] 健康ポイント事業、広報活動 [上] パンフレット及び健康手帳の配布、訪問による健康確認（40歳） [乙] おくしり健康マイレージ [奥] 後期高齢者健診 [各町] 脳ドック [各町] 生活保護受給者等健康診査 [江・上・乙・奥] 若年者健診（厚） 健診結果説明会 [江・厚・乙] 高血圧対策 <ul style="list-style-type: none"> 血圧計の貸出、血圧手帳の配布 [江] えさしレシビの開発・普及 [江] 家庭血圧測定普及のための広報活動及びアンケートの実施、塩分計の貸し出し [上] 地区組織の育成等 <ul style="list-style-type: none"> 食生活改善協議会への支援 [江・上・厚・乙] 身体活動・運動 <ul style="list-style-type: none"> えさしバトン体操の普及 [江] すこやかロードを活用した事業の実施 [江] すこやかロードの認定 [乙] 健康体操・運動教室 [江・上・厚・乙] 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率向上対策として、データ受領によるみなし健診の実施体制を整備。 [江] 特定保健指導率向上のため、新たに夜間の結果説明会を開催したところ、40代・50代の働き盛り世代の利用があり、対面での保健指導件数は昨年度より増加傾向。 [江] 特定健診未経験者が多い [上] 地区組織の育成は、学習会後の地域への自主活動につながっている [上] 体操教室は、体重減少等の効果みられるが、新規の参加者が少ないため、事業実施の見直しを予定 [上] 特定健診については、未受診者を含めた個別受診勧奨を行い特定健診受診率が上がった。（集団受診率は低いが個別受診率が上昇のため） [厚] 健康教育などで普及啓発しているが、参加者の固定化が見られる。また、健診受診者の高齢化が進んでいる。 [乙] 若い世代での健康教育等関わる機会がなく、疾病予防についての働きかけに課題がある。 [乙] 保健指導介入前後の検査値の変化が課題 [奥] 	<p><各町における取組></p> <ul style="list-style-type: none"> [重点] 特定健診受診率向上対策 [江・上] [重点] 特定健診未受診者対策 [乙・奥] [重点] 地区組織の育成、支援 [上] [重点] えさしレシビの普及啓発 [江]
	医療連携体制	○南檜山地域医療連携システムを活用した急性期病院との連携等	・道南脳卒中地域連携協議会	・道南脳卒中連携協議会等により、医療と地域の連携を進める必要がある。	・道南脳卒中地域連携協議会への出席など、道南医療圏と情報共有を行い必要な医療連携体制の確保に努めていく。
心筋梗塞等の心血管疾患	予防対策の充実	○特定健康診査の受診率向上、特定保健指導実施率の向上等 ○急性心筋梗塞を予防するための保健事業の推進等	<p><各町の取組></p> <p>※ 健康づくり事業行動計画では「循環器疾患」に係る取組として調査していることから、「脳卒中」の中の記載を参照</p>	※ 左記に同じ	※ 左記に同じ
	医療連携体制	○道南の医療機関との連携、情報共有等	・南檜山地域医療連携システム（イ・ネット南檜山）等を活用した、南渡島の急性期医療機関との診療連携	・道南圏域でクリティカルパスとして活用している「脳卒中・急性心筋梗塞あんしん連携ノート」の活用を促進する必要がある。	・南檜山地域医療連携システム（イ・ネット南檜山）等により、道南医療圏と情報共有を行い必要な医療連携体制の確保に努めていく。

南檜山圏域地域推進方針領域別推進状況

領 域	施策の方向性	主な施策	取 組 状 況 （保健所、町、その他）	評価（達成状況、推進上の課題、地域の課題など）	次年度の取組予定（保健所、町、その他）
			RO4、RO5 実績 （見込み含む）		
糖 尿 病	<p>予防対策の充実</p> <p>医療連携体制</p>	<p>○望ましい生活習慣・食習慣の普及定着等</p> <p>○運動習慣の確立、運動方法、効果の普及啓発等</p> <p>○道南の医療機関との連携、情報共有等</p>	<p>・食生活改善事業への参画</p> <p>・檜山地方食生活改善協議会代表者会議（RO4：1回）</p> <p>・檜山地方食生活改善協議会交流会（RO5：1回）</p> <p>・食生活改善推進員養成講座に伴う講師派遣（RO4：江差町1回）</p> <p>・パネル展にて食習慣に関する普及啓発を実施（RO4：1回、RO5：1回）</p> <p>・特定給食施設等指導の実施（個別、集団）</p> <p>・道南ブロック行政栄養士研修会（RO4：1回、RO5：1回）</p> <p>・管内行政栄養士研修会（RO4：1回）</p> <p>・管内行政栄養士業務連絡会（RO4：2回、RO5：2回）</p> <p>・南檜山管理栄養士・栄養士研修会（RO5：2回）</p> <p>・小中学生減塩対策事業（RO5：2回）</p> <p>・食品表示法に係る相談対応</p> <p><各町の主な取組>（脳卒中に記載されている取組を除く）</p> <p>・健診結果説明会で糖尿病予防や重症化リスクについて説明 [各町]</p> <p>・特定健診・保健指導に関する統計資料の集計及び分析 [上]</p> <p>・南檜山糖尿病重症化予防プロジェクトプロジェクトチーム推進会議（RO4：0回、RO5：0回、）</p> <p>医療機関からの指示件数（RO4：17件、RO5：12件）</p> <p>・南檜山糖尿病重症化予防プロジェクトに関する実態把握（道立江差病院との協議及び各町との打合せ）</p> <p>・住民への普及啓発（機関誌「リンクルみなみひやま」への掲載）（RO4：1回、RO5：0回）</p> <p>・糖尿病重症化予防研修会（関係者向け）（RO4：0回、RO5：1回）</p> <p>・南檜山地区糖尿病診療を考える会（RO4：0回、RO5：0回）</p> <p>・研修会（関係者向け）道立江差病院主催（RO4：0回、RO5：0回）</p> <p>・糖尿病教室（住民及び関係者向け）道立江差病院主催（RO4：0回、RO5：0回）</p> <p><各町の主な取組></p> <p>・南檜山糖尿病重症化予防プロジェクトとの連携 [各町]</p> <p>・糖尿病連絡システムの活用（檜山管内・管外） [江・上]</p> <p>・奥尻町糖尿病重症化予防プログラム [奥]</p>	<p>・「がん」領域に記載のとおり</p> <p>・糖尿病治療中断者について、KDBシステムにより抽出受診勧奨を実施。今後の保健指導につなげる予定。 [江]</p> <p>・医療機関との連携が取れており、早期より介入することで、保健指導後に改善している人が多い。（男性、肥満者、後期高齢者） [上]</p> <p>・課題として、糖尿病の新規発症者が多く、BMI高値者の割合が多い [上]</p> <p>・指導対象者が決まってきたため、新しい手法が必要。 [厚]</p> <p>・受診者の固定化、高齢化がみられる。また、普及啓発については若い世代と関わる機会がなく働きかけに課題がある。 [乙]</p> <p>・保健指導介入前後の検査値の変化が課題。 [奥]</p> <p>・病識の獲得や生活改善に向けた具体的指導、受診継続の支援など、保健師や管理栄養士の介入効果を医療関係者に理解してもらう必要がある。</p> <p>・各町が把握できない患者層について、医療機関との情報共有が必要なことから、方法の検討。</p>	<p>・「がん」領域に記載のとおり</p> <p>[重点] 精検未受診者の受診勧奨 [江]</p> <p>[重点] 特定健康受診率向上対策 [上]</p> <p>[重点] 地区組織の育成、支援 [上]</p> <p>[重点] 特定健診・保健指導 [上・乙]</p> <p>[重点] 特定健診未受診者対策事業 [奥]</p> <p>[重点] 糖尿病重症化予防プログラム [奥]</p> <p>・南檜山糖尿病重症化予防プロジェクトプロジェクトチーム推進会議 年3回程度</p> <p>・住民への普及啓発（機関誌への記事掲載）</p> <p>・糖尿病重症化予防研修会（関係者向け） 年1回程度</p>

南檜山圏域地域推進方針領域別推進状況

領域	施策の方向性	主な施策	取組状況（保健所、町、その他）	評価（達成状況、推進上の課題、地域の課題など）	次年度の取組予定（保健所、町、その他）
			RO4、RO5実績（見込み含む）		
精神疾患	相談支援機能の強化	○関係者向けの研修会、人材養成、情報提供、支援等	<ul style="list-style-type: none"> ・依存症関連 断酒会支援（RO4 1回、RO5 0回） ・高次脳機能障がい関連 RO4 家族交流会 1回、RO5 研修1回、家族交流会1回 ・ひきこもり関連 RO4、RO5 実績なし ・思春期関連 研修会（RO4 実績なし、RO5 1回） <p><各町の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別相談 [江・厚・乙] ・こころの巡回相談の活用、紹介 [乙] ・広報による周知活動、広報・ポスター・パンフレット等による知識の普及 [江・厚・乙・奥] ・思春期健康教育 中学校健康教育 [上・乙] 小・中学校における健康教育 [乙] ・事業所等への健康教育 職場のメンタルヘルスへの取組 [厚] ・マタニティブルー・産後うつ予防対策 育児アンケート、妊婦訪問、妊婦教室等 [各町] ・「自殺対策推進検討委員会」の開催 [江] ・役場職員に対し「ゲートキーパー養成講座」を実施。 [江] ・「ゲートキーパー研修」を実施。 [上] 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的社会資源が少ない地域において、精神保健に関する地域支援者の対応力と連携強化が望まれる。 ・高次脳機能障がいは、外見からはわかりにくい障害であり、本人・家族同士のつながりの機会や地域支援者の学習機会として継続が必要。 ・ひきこもりは、必ずしも精神疾患が関連しているわけではなく、社会的な支援で改善していく場合もあるが、精神疾患が疑われる場合には、適切に医療につなぐことが必要であり、事例を探知する支援者の対応力強化は必要。 ・思春期保健では、学校養護教諭等が児童・生徒の心の成長・発達に関わる上で、引き続き、学習の機会が必要。 ・健康教育は、継続的に関わりを持つことができています。思春期の変化を理解してもらう事ができた。 [上] ・第1子やメンタル既往歴のある妊産婦が増えており随時対応した。相談があれば対応しているが、広報やパンフレットによる情報提供以外に特に活動できていない。 [厚] ・出生数が少ない反面、低出生体重児や早産など、子育てに支援や配慮を必要とするケースが多い傾向にある。思春期のメンタルヘルスの支援では各機関と情報共有や連携が重要。 [奥] ・町内小学校や中学校との連携により、性教育を通じた『命の大切さ』を伝える事業が展開している。今後も継続して実施していきたい。 [乙] ・研修の内容を生かせそうだという声があった [上] 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態に応じて、地域支援者学習会を必要時開催する。 ・高次脳機能障害については、コロボックル道南支部の協力を得ながら、無料相談会や家族交流会、研修会等を必要時開催する。 ・ひきこもり関連の取組は、児童・生徒～高齢者まで幅広い年代への支援に係るニーズを関係者から把握しながら、必要時、こころのリカバリーセンター等に技術支援を依頼する。 ・思春期関連事業については、地域の実情の応じて、必要時開催する。 ・既存の取組を継続することで、各年代への理解の促進を図る。
		○住民への普及啓発、支援制度の周知等	<ul style="list-style-type: none"> ・住民向けゲートキーパー養成講座 RO5 1回 ・相談関連 精神保健相談 RO4 月1回実施（0回活用） RO5 月1回実施（1回活用） ・健康教育 RO4 1回、RO5 2回 ・普及啓発 自殺予防週間、月間ポスター掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健相談について、相談の活用を図るため、健康教育やホームページ掲載により関係機関への周知を続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健相談は、毎月1回定例開催予定 ・普及啓発事業については、継続実施

南檜山圏域地域推進方針領域別推進状況

領域	施策の方向性	主な施策	取組状況（保健所、町、その他）	評価（達成状況、推進上の課題、地域の課題など）	次年度の取組予定（保健所、町、その他）
			RO4、RO5実績（見込み含む）		
	地域定着の支援	○退院後の生活支援、関係機関との連携等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行関連連絡会議（RO4 3回、RO5 3回） ・研修会（RO4 1回、RO5 1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会資源も少なく、地域移行が進みにくいが、できるところから取組みが進められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行関連の連絡会議・研修会に出席、地域関係者と連携し地域の取組みを推進する。
	医療連携体制	○かかりつけ医との連携等	<ul style="list-style-type: none"> ・南檜山地域SOSネットワーク会議（RO4、RO5 実績なし） ・思春期ネットワーク会議（RO4 実績なし、RO5 1回） ・自殺対策連絡会議（RO4 1回、RO5 1回） ・ゲートキーパー養成講座 RO4 2回（江差町、上ノ国町）、RO5 2回（上ノ国町、乙部町） ・精神科救急医療体制道南ブロック調整会議 RO4、RO5 実績なし ・道南ブロック精神科医療機関実務者会議 RO4 1回、RO5 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域関係者と課題共有、取組みを推進する。 ・精神科医療機関との連携強化を図るきっかけとなった。今後も連携を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南檜山地域SOSネットワーク会議は、必要時開催する ・思春期ネットワーク会議は、研修的要素を中心とした内容を年1回開催予定 ・自殺対策連絡会議は、年1回開催予定 ・精神科救急医療体制道南ブロック調整会議に出席 ・道南ブロック精神科医療機関実務者会議に出席し、道南ブロックの現状・課題を共有。連携の強化を図っていく。

南檜山圏域地域推進方針領域別推進状況

領域	施策の方向性	主な施策	取組状況（保健所、町、その他）	評価（達成状況、推進上の課題、地域の課題など）	次年度の取組予定（保健所、町、その他）
			R04、R05実績（見込み含む）		
救急医療	初期救急医療	○在宅当番医制の維持等	・一般社団法人檜山医師会が在宅当番医制を実施	・現体制の維持に努めている。	・引き続き、現状の在宅当番医体制の維持に努める。 ・地域全体として不足している医師等医療従事者の確保に努める。
	二次救急医療	○病院群輪番体制参加病院の体制維持等	・救急告示医療機関のほか、道立江差病院が地域センター病院の役割として単独実施	・現体制の維持に努めている。	・引き続き、現状の病院群輪番体制の維持に努める。
	三次医療圏との連携等	○消防機関との連携強化等 ○道南ドクターヘリの円滑な運航等 ○南檜山地域医療連携システムを活用した急性期病院との連携等	・管内各医療機関（歯科診療所を除く。）及び檜山広域行政組合消防本部を参集し、「救急医療体制に係る打合せ」を実施し、患者搬送・受入体制について協議（R04 未開催 R05 未開催） ・道南ドクターヘリ運航調整委員会（R04 ハイブリッド2回開催 R05 対面1回、ハイブリッド1回開催） ・南檜山地域医療連携システム（イ・ネット南檜山）により、管内10機関・函館市内5機関が患者情報等を共有（R01 江差病院主催連携システム研修会実施 R04 未開催 R05 未開催）	・関係者間で患者搬送・受入体制について協議し、問題点等について情報共有の上、連携を図る必要がある。 ・道南ドクターヘリの運航実績や道南圏における医療課題等を情報共有の上、連携が図られている。 ・システムにより患者情報を共有し、診療連携が図られている。	・必要に応じ、医療機関及び消防機関との打合せを実施し、より円滑な救急医療体制の構築に努める。 ・道南ドクターヘリ運航調整委員会等へ参画し、道南ドクターヘリの円滑な運航に協力する。 ・南檜山地域医療連携システム（イ・ネット南檜山）の積極的な活用を啓発し、診療連携を促進する。
	住民への普及啓発	○住民への情報提供、普及啓発	・傷病者の救命率の向上等を図るため「救急医療講習会」を開催し、救急法等の普及及び啓発を実施（R04 未開催 R05 厚沢部町で開催）	・地域住民を対象に、迅速かつ確かな心肺蘇生法（AED：自動体外式除細動器を用いた心肺蘇生法を含む）等の応急処置について学ぶことができることから、他町での実施が必要である。	・救急法等の普及及び啓発のため、引き続き、管内5町の持ち回りの研修会を実施する。
災害医療	施設耐震化、防災マニュアルの整備等	○医療提供体制施設設備交付金他の活用等 ○自然災害を含む医療機関防災マニュアルの整備等	・管内関係機関に対し、活用可能な補助金等について周知令和4、5年度医療施設等施設整備事業（有床診療所等スプリングラー等施設整備事業）を活用。（R04奥尻町国民健康保険病院）（R04～05厚沢部町国民健康保険病院） ・病院立入検査の機会を活用し、BCP（緊急時等における事業継続計画）に基づいた災害対応マニュアルの作成について助言・指導（R04 5カ所 R05 5カ所）	・活用可能な補助金等について周知している。 ・BCPに基づく災害対応マニュアルについて、引き続き、災害時対応の明文化、マニュアル化を促すことが必要である。	・管内関係機関に対し、活用可能な補助金等について周知する。 ・引き続き、BCPに基づいた災害対応マニュアルの見直しについて助言・指導する。
	大規模災害時の他医療機関との連携体制強化	○防災訓練等の実施、町との共同実施等	・管内有床医療機関を対象とした広域災害・救急医療情報システム（EMIS）の入力訓練を実施 R04 2回開催 R05 1回開催	・年1回は入力訓練を実施しており、災害時の入力等対応について、連携体制の強化が図られている。	・今後も、EMIS入力訓練を含めた防災訓練等を実施していく。
	へき地医療	○へき地診療所の体制等 ○患者搬送体制の支援、整備等 ○道南ドクターヘリの円滑な運航等	・南檜山地域医療連携システム（イ・ネット南檜山）により、管内10機関・函館市内5機関が患者情報等を共有 【再掲】 ・へき地医療対策事業費（運営費）補助金を活用し、乙部町において患者送迎バスを運営費を補助（R04 R05） ・道南ドクターヘリ運航調整委員会等への参画 【再掲】（R04 ハイブリッド2回開催 R05 対面1回、ハイブリッド1回開催）	・「救急医療」領域に記載のとおり ・へき地の患者を最寄りの医療機関まで安全に輸送、住民の医療の確保を図っている。 ・「救急医療」領域に記載のとおり	・「救急医療」領域に記載のとおり ・運営費について、乙部町が活用予定 ・引き続き、管内関係機関に対し、活用可能な補助金等を周知する。 ・「救急医療」領域に記載のとおり
へき地医療	○南檜山地域医療連携システムを活用した急性期病院との連携及び連携強化等 ○地域センター病院の充実等	・南檜山地域医療連携システム（イ・ネット南檜山）により、管内10機関・函館市内5機関が患者情報等を共有 【再掲】 ・道内体育大学の地域医療支援センターからの医師派遣により医師確保に努めた。（R04、R05）	・「救急医療」領域に記載のとおり ・へき地診療支援を行えるよう、医療従事者の確保を図る必要がある。	・「救急医療」領域に記載のとおり ・地域センター病院の充実のため、引き続き、医師を始め医療従事者の確保に努める。	

南檜山圏地域推進方針領域別推進状況

領域	施策の方向性	主な施策	取組状況（保健所、町、その他）	評価（達成状況、推進上の課題、地域の課題など）	次年度の取組予定（保健所、町、その他）
			RO4、RO5実績（見込み含む）		
周産期医療	周産期医療体制の整備	○医療技術者の確保、受け入れ体制の整備等 ○総合周産期医療センターとの医療連携体制等	・道立江差病院において、常勤の産婦人科医1名を確保の上、分娩を受け入れていたが、RO1年度をもって、常勤医師廃止により分娩休止	・必要な診療体制の確保を図る必要がある。 ・総合周産期医療センターである函館中央病院等との連携体制の整備が必要である。	・常勤産科医が不在となり、分娩の受け入れが出来ない。引き続き、医師等医療従事者の確保に努める。 ・総合周産期医療センターとの連携に努める。
小児医療	小児救急体制の確保	○勤務状況の改善、複数体制の確保等	・道立江差病院において、常勤の小児科専門医1名による体制を維持	・地域全体で不足している医師等医療従事者の確保に努める必要がある。	・引き続き、医師等医療従事者の確保に努める。
	小児科医師の負担軽減等	○小児救急に関する研修の周知、連携等 ○小児救急電話相談事業等における周知啓発等	・道では一般社団法人北海道医師会に委託し「北海道小児救急医療地域研修会」を実施（H17～） ・ホームページによる「北海道小児救急電話相談事業」の紹介等、不急かつ軽症患者に対する啓発	・檜山広域消防組合が函館市の研修に参加 ・ホームページにより不急かつ軽症患者に対する啓発を進めていく必要がある。	・「北海道小児救急医療地域研修会」により、地域の小児救急医療体制の確保・推進を図る。 ・子育て不安の解消のため、住民への啓発に努める。
在宅医療	地域における連携体制の構築	○退院支援から看取りまでの医療提供体制の構築等 ○急変時の対応可能な医療機関相互の連携等 ○多職種間の連携体制の構築等	・南檜山医療・介護連携推進会議（RO4：10回、RO5：12回、） ・機関誌「リンクルみなみひやま」の発行（RO4：年6回、RO5：年6回、） ・南檜山地域看護連携推進会議（RO4：2回、RO5：2回） ・地域看護職員研修（看護職員向け研修）（RO4：1回、RO5：0回） ※南檜山医療・介護連携推進会議と共催 ・在宅看護講座（住民向け講演会）（RO4：0回、RO5：0回）	・南檜山医療・介護連携推進会議を継続開催し、多職種による在宅療養支援体制の強化を図っている。 ・機関誌の発行や講演会の開催等により住民への理解促進にも寄与しているが、在宅医療の推進のためには、今後も普及啓発を続けていく必要がある。また、関係者の質の向上のために研修機会の確保も必要である。 ・多職種による在宅療養支援体制の充実においては、住民と連携した仕組みづくりが必要であり、住民連携の視点での取組が必要である。	・南檜山医療・介護連携推進会議（月1回） ・機関誌「リンクルみなみひやま」の発行（年6回） ・南檜山地域看護連携推進会議（年2回程度） ・各種研修会、講演会の開催（必要に応じて）
	緩和ケア体制の整備	○従事者研修の実施、相談支援体制の整備等	・南檜山地域看護連携推進会議主催の研修会にて「緩和ケア」をテーマに開催（H30）。R1以降の実績はなし	・今後も必要なテーマを選定し、開催していく	・南檜山地域看護連携推進会議（年2回程度） ・各種研修会、講演会の開催（必要に応じて）
	在宅口腔ケア体制の充実等	○歯・口腔機能の維持、専門的な口腔ケアの充実等	・在宅難病療養者等訪問口腔ケア事業の実施（RO4：0回、RO5：0回）	・在宅療養者の対象者が生じた場合は、口腔衛生状態及び口腔機能の維持、改善を図る必要がある。	・事業の周知とともに対象者が生じた場合、事業の実施を検討する。
	訪問看護の質の向上	○職員の確保、研修による質の向上等	・南檜山地域看護連携推進会議にて「訪問看護出向事業」について紹介（H30） ・道が北海道看護協会に「訪問看護出向事業」を委託（RO4・RO5 管内実績なし）	・今後も必要なテーマを選定し、開催していく。 ・「訪問看護人材の確保」について、医療機関の看護職員等に対する周知を実施し、事業の推進を図っていく必要がある。	・南檜山地域看護連携推進会議（年2回程度） ・各種研修会、講演会の開催（必要に応じて）
	在宅医療の理解の促進	○かかりつけの必要性、役割の普及啓発、在宅医療に係る普及啓発、情報提供等	・南檜山医療・介護連携推進会議（月1回） ・機関誌「リンクルみなみひやま」の発行（RO4：年6回、RO5：年6回）	・南檜山医療・介護連携推進会議の活動や機関誌「リンクルみなみひやま」等、普及啓発を続けていく必要がある。	・南檜山医療・介護連携推進会議（月1回） ・機関誌「リンクルみなみひやま」の発行（年6回程度）

南檜山圏域地域推進方針領域別推進状況

領域	施策の方向性	主な施策	取組状況（保健所、町、その他）	評価（達成状況、推進上の課題、地域の課題など）	次年度の取組予定（保健所、町、その他）
			RO4、RO5実績（見込み含む）		
その他地域保健医療対策	難病対策	<ul style="list-style-type: none"> ○治療研究事業推進等 ○在宅療養への支援等 ○地域連携による効果的な支援の検討等 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定難病及び特定疾患医療費助成受給者数（RO5.3月末 227名）、（RO6.2月末 226名） ・訪問リハビリ（RO4 0件）（RO5 0件） ・難病対策地域協議会（RO4 1回、RO5 1回） ・難病対策地域協議会研修（RO4 1回、RO5 1回） ・在宅療養支援計画策定・評価事業 本事業を活用し、難病対策地域協議会研修を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定難病等の申請受付は、新型コロナの影響もあり令和4年度から本庁に集約したが、保健所への来所者に対しては、相談対応や書類の本庁送付など、丁寧な対応に努めた。 ・難病対策地域協議会では、在宅療養、災害時避難行動支援の現状、課題を意見交換し、支援者の人材不足を中心とした課題を共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定難病等の申請受付は、申請者の利便性に配慮して、令和6年度から本庁と保健所のいずれでも受付を行うこととし、申請者に対する丁寧な対応に努める。 ・訪問リハビリは、地域のニーズに応じて必要時支援を依頼する。 ・在宅療養支援計画策定・評価事業を活用し、難病対策地域協議会及び研修を開催。
	地域歯科保健医療	<ul style="list-style-type: none"> ○保育所・学校等におけるフッ化物先口等の推進等 ○高齢者に対する口腔ケア体制の整備等 ○歯・口腔の健康づくりの普及啓発等 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の衛生週間に係る啓発活動（ポスターの掲示等） ・パネル展によるオーラルフレイル予防及び8020運動の普及啓発 <p><各町の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種歯科健診等【各町】 ・フッ化物塗布事業【各町】 ・保育所・幼稚園・小学校等でのフッ化物洗口【江・厚・乙・奥】 ※ 江差町～新型コロナ流行以降、小学校でのフッ化洗口が中止 ・歯みがき教室【江・厚】 ・歯周病健診（特定保健指導時）【奥】 ・高齢者に対する普及啓発 介護予防教室等における口腔ケア普及啓発【厚・乙】 ・むし歯のない子の表彰【上・乙】 ・保護者の歯科健診【江】 	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物洗口については、コロナ禍を経て中止している施設及び未実施の施設に普及啓発が必要である。 ・パネル展の実施により、8020運動の周知及び口腔ケアに関する普及啓発を行うことが出来た。 ・新型コロナ流行以降、小学校におけるフッ素洗口が中止したままとなっている【江】 ・乳幼児のう歯保有率は年代によっては増加が見られる。幼児歯科検診の受診者が固定している。【上】 ・こども園歯みがき教室の再開。ブラッシング指導の再開。フッ素塗布事業の参加者が年々少ない。【厚】 ・1歳以降の歯科検診・フッ素塗布に来る子は固定化しており、人数も少ないのが課題。保育園に入園してしまうと歯科検診のために休みを取ることも難しい現状がある。【乙】 	<ul style="list-style-type: none"> ・未導入施設への普及啓発及事業説明を行う。 ・コロナ禍で中止となっている施設へのアプローチ。 ・歯・口腔ケア（8020推進週間）に係る普及啓発。 <p>【重点】フッ素洗口の実施機会の確保【江】 【重点】幼児歯科検診【上】 【新規】高齢者一体的実施の事業として、口腔機能向上のための普及啓発【上】 【新規】歯周病検診【乙】</p>
	今後高齢化に伴い増加する疾病等対策	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防事業の助言、支援、専門職の派遣等 ○ロコモティブシンドロームの予防に向けた普及啓発等 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防従事者研修会（道南ブロックで隔年開催） H30 フレイル予防をテーマに関係者を対象に開催 R3は、渡島で開催 <p><各町の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室、運動教室、介護予防事業等【各町】 ・肺炎球菌予防接種、インフルエンザ予防接種の助成【江・上・乙】 ・ウォーキング、ノルディックウォーキング普及啓発【江・乙】 ・自治会等への食育教室【上】 ・老人クラブ等での健康教育【江・厚・乙】 ・男性の料理教室【江】 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル状態にある高齢者を早期に発見することを目的に開催してきた。今後は必要なテーマを選定し、必要に応じて事業の実施を検討する。 ・高齢者に対する介護予防普及啓発事業や運動機能の維持向上目的とした事業を実施。 ・高齢者の保健事業の一体化に向けて協議及び体制づくりが必要。【江】 ・認知症の高齢者及び独居男性等への普及啓発の機会が少ない。【上】 ・参加者が固定化し、地域への波及効果が十分でないため、地域団体等との連携による様々な面での関わりが必要である。【乙】 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度未開催だったので、R3に開催。R4からは隔年開催 <p>【重点】高齢者の健康づくり【江】 【重点】訪問指導【上】 【重点】地区組織に対する健康教室【上】</p>
	訪問看護ステーションの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養に向けた医療関係者との連携、環境整備等 ○地域の特性や生活状況を踏まえたケアの提供、家族への支援等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「在宅医療」領域に記載のとおり ・「在宅医療」領域に記載のとおり 	<ul style="list-style-type: none"> ・「在宅医療」領域に記載のとおり ・「在宅医療」領域に記載のとおり 	<ul style="list-style-type: none"> ・「在宅医療」領域に記載のとおり ・「在宅医療」領域に記載のとおり
	医療従事者の勤務環境改善	○北海道医療勤務環境改善支援センターの取組の周知	・地域医療構想専門部会において、医師の働き方改革及び北海道医療勤務環境改善支援センター等について説明	・勤務環境の改善に向けた支援策が医療機関や医療従事者に十分認知されていないことから、今後、周知が必要である。	・北海道医療勤務環境改善支援センターの役割、業務について、引き続き周知を図る。

南檜山圏域地域推進方針領域別推進状況

領 域	施策の方向性	主な施策	取 組 状 況 （保健所、町、その他）	評価（達成状況、推進上の課題、地域の課題など）	次年度の取組予定（保健所、町、その他）
			RO4、RO5 実績 （見込み含む）		
	医療従事者等の確保	○医師、看護職員等の就業、確保対策 ○普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・「看護連携推進検討会議」【R4 2回、R5 2回】 ・北海道医療人材確保ポータルサイトの紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師確保対策として、各関係機関（医療機関・養成機関・教育局）との連携が必要である。看護師不足は地域課題であり、今後も「看護連携推進検討会議」を継続して開催していく必要がある。 ・医療従事者等の確保に向けた取り組みは今後も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・江差高等看護学院が実施する各種事業への支援及び「看護連携推進検討会議」を開催し、地域での看護職員の定着・確保に努める。また、地域医療連携推進法人南檜山メディカルネットワークと協力し取り組みを進める。